

国民と広く連帯し、  
患者・利用者・地域住民と  
医療・介護・福祉労働者の  
人権・いのちの尊厳を守ろう

第52回

# 医療研究 全国集会 オンライン集会

2025年

6/28 土

1日目

全体集会

13:00(受付12:30)~16:30終了

6/29 日

2日目

分科会

10:00(受付9:30)~16:00終了

※WEB会議アプリ「ZOOM」のウェビナーでの開催となります

※WEB会議アプリ「ZOOM」での開催となります

記念講演 13:10~

## 医療DXが社会保障を変える

~マイナンバー制度を基盤とする情報連携と人権~

稲葉 一将

名古屋大学大学院法学研究科教授



基調フォーラム 14:50~

## 医療・介護のデジタル化で いかなる変化が生じ、何が問題か

●パネリスト

保険証廃止、マイナ保険証の問題点  
~これまでとこれから~

曾根 貴子 全国保険医団体連合会事務局主席

不十分な日本の個人情報保護レベル、  
GDPR (EUの一般データ保護規則) との比較から

小島 延夫 弁護士・早稲田大学法科大学院及び筑波大学法科大学院非常勤講師

●コーディネーター 長友 薫輝 佛敎大学社会福祉学部准教授

- 1 地域を守る公共インフラとしての地域医療を考えよう
- 2 保健予防活動を地域住民とともに
- 3 人権を意識した「より良い看護」
- 4 日本の精神保健医療福祉の改善を目指して
- 5 患者のための臨床検査
- 6 病院・介護・福祉施設における給食の現状と改善をめざして
- 7 「労働者」のいのちと健康を守る活動を考える
- 8 施設介護・在宅介護
- 9 「放射線医療従事者の賃金労働条件の改善に向けて」  
夜勤の実態や休暇制度、人員配置について考える
- 10 わたしたちが大切にしたい保育

分科会は、定員80名です。早めの申し込みをお願いします。

参加費：2日間 2,000円

1日のみ 1,000円 / 2日のみ 1,000円

※日本医療連の組合員以外の一般参加者500円・学生無料

参加申込み・レポートの応募はWEBサイトまで

※4月受付開始、締切はどちらも6月20日(金)まで



主催

第52回 医療研究全国集会組織委員会

TEL03-3875-5871

日本医療労働組合連合会 <http://www.irouren.or.jp/>

〒110-0013 東京都台東区入谷1-9-5 日本医療労働会館3F

公益財団法人 日本医療総合研究所 <https://iryousouken.jp/>

〒110-0013 東京都台東区入谷1-9-5 日本医療労働会館1F

# 第52回 医療研究全国集会 オンライン集会

全体集会・分科会のご案内

1日目〈6月28日〉

WEB会議アプリ「ZOOM」のウェビナーでの開催となります

記念講演 13:10～

## 医療DXが社会保障を変える

～マイナンバー制度を基盤とする情報連携と人権～

稲葉 一将 (名古屋大学大学院法学研究科教授)

【略歴】2012年4月より現職。主な著作に、稲葉一将・松山洋・神田敏史・寺尾正之「医療DXが社会保障を変える—マイナンバー制度を基盤とする情報連携と人権—」(自治体研究社、2023年)、稲葉一将「健康保険証の廃止と地方自治」デジタル自治と分権1号(通巻95号)17頁以下、稲葉一将「医療DXによる医療現場の『転形』」大阪保険医雑誌695号14頁以下、鼎談「マイナカード&マイナ保険証の何が問題か」保険診療79巻10号11頁以下など。

基調フォーラム 14:50～

## 医療・介護のデジタル化で いかなる変化が生じ、何が問題か

●パネリスト

保険証廃止、マイナ保険証の問題点 ～これまでとこれから～

曾根 貴子 (全国保険医団体連合会事務局主幹)

不十分な日本の個人情報保護レベル、GDPR(EUの一般データ保護規則)との比較から

小島 延夫 (弁護士・早稲田大学法科大学院及び筑波大学法科大学院非常勤講師)

●コーディネーター 長友 薫輝 (佛教大学社会学部准教授)

2日目〈6月29日〉

WEB会議アプリ「ZOOM」での開催となります

分科会 10:00～16:00

### ①地域を守る公共インフラとしての地域医療を考えよう

全国の一般・療養病床は、地域医療構想の政府目標である「2025年度の必要病床数の全国積み上げ数」1,191,000床とほぼ同数まで削減されました。医療機関の統廃合だけでなく、看護師の退職が止まらず病床を減らす病院も増えています。誰もが住み慣れた街で安心して暮らす条件が壊されているなか、地域医療をめぐる政策動向を学び、命と暮らしを守る取り組みを交流し展望を語り合える分科会をめざします。

### ②保健予防活動を地域住民とともに

～まちづくりフレイル予防ヘルスプロモーション～

健康寿命を延ばすためには、子どもや働き世代への保健予防活動が重要です。一方で、現場では担い手不足や資金の課題が深刻です。今年の分科会では、地域とともに取り組む具体例やアイデアを共有し、実践的な解決策を探ります。本田宏先生を迎え、現場の悩みを共有しながら未来の担い手をどう育てるかを議論します。ともに地域の健康づくりを考えましょう！

### ③人権を意識した「より良い看護」

コロナ禍で脆弱な医療提供体制が明らかになったものの国は人権軽視の政策に終始し、医療者のみならず患者負担は増える一方です。医療現場は離職が増加し看護師不足が各地で起きています。誰もが安心して医療にかかるためにどうしたら良いか、看護実践報告や労働環境改善の取り組みレポート等を募集します。どうしたら「より良い看護」を提供できるかともに深めましょう。

### ④日本の精神保健医療福祉の改善を目指して

～精神科関連で働く労働組合の役割～

現在日本の精神科病院は、入院患者の減少により病院の維持が困難な状況となり、国と病床削減や地域移行を本格的に行う準備を進めています。しかし、その為の地域の受け皿は不十分で病院職員の雇用の維持なども検討されておらず課題が山積しています。また、入院患者は高齢化が進み現在の人員配置基準では適切な治療やケアが行えず、行動制限も減少しないまま人権にも影響を及ぼしています。その為、海外の状況も踏まえ、これからの精神科医療を皆さんと考えていきたいと思えます。

### ⑤患者のための臨床検査

臨床検査の仕事で困ったことや不安なことはありませんか？そんな悩みを全国の仲間と楽しく気軽に語り合しましょう。問題解決への道が開かれる可能性があります。この分科会ではレポート報告と課題別討論(労働条件、人材育成、夜勤体制、採血業務、業務拡大、タスクシフト関連等)を予定しております。皆さんの参加とレポート発表をお待ちしています。

### ⑥病院・介護・福祉施設における給食の現状と改善をめざして

給食分科会は、医療・介護・福祉の現場で働く「食」と「健康」に係わる

全てのスタッフが知識と経験を共有する分科会です。

何処にでもある困難だらけの職場からの工夫・実践のレポート報告を中心に分科会を運営したいと思います。同じ困難を理解し分かち合える、有意義な学習・交流の場となる事を期待しています。

### ⑦「労働者」のいのちと健康を守る活動を考える

雇用の多様化や人手不足などを背景に、職場環境や労働条件の悪化は深刻化しており、労働者のいのちと健康を脅かす要因を取り除く取り組みは一層大切です。こうした取り組みの「風土」をつくるためには、労働組合が積極的に労働安全衛生について学習し、啓発していく必要があります。この分科会では、職場の労安活動のレポート報告を軸に、労安活動の意義や実践について討論を行います。

### ⑧施設介護・在宅介護

介護保険制度は発足25年の節目を迎えます。私たちは、利用者の「生活の場」である介護現場において、日々人権と個性を尊重するケアを実践し介護の質の向上を目指してきました。

私たちは、会って、話して、聴くことを大事にする専門職です。私たちが集まり日々のケアを振り返ることで「明日からも頑張ろう」と思えたら、利用者の笑顔も増えるでしょう。施設系、在宅系、ケアマネなど、業態を問わず介護現場で働く方なら職種不問、学生も歓迎です。

### ⑨「放射線医療従事者の賃金労働条件の改善に向けて」

夜勤の実態や休暇制度、人員配置について考える

放射線従事者の労働実態を把握し改善に向けての討論を行います。また夜勤実態や休暇制度に伴う人員の配置数についても考えます。

### ⑩わたしたちが大切にしたい保育 ～院内保育所のあり方～

保育士の働き方って・・・このままでいいの？保育士が続かないのはどうして？保育のこともっと知りたいな。どんな取り組みしたらいい？書類や計画どんな様子？各園どうしてるの？あんな事こんな事困っていませんか？あれこれ！みんなが知りたい内容を詰め込んで語り学びませんか。

### 分科会レポート募集中

医療研究集会の魅力は、集会2日目の分科会討論です。全国の経験を持ち寄り、テーマ別に「レポート」に基づく討論と交流を行います。

内容 分科会の問題提起に沿って日頃の実践をまとめてください。

提出先 第52回 医療研究全国集会組織委員会

※詳しくは医療研ホームページまで

<https://iryoken.jp/>

締切 6月20日(金)必着

